



Netfinity 3500 M10

セットアップ・ガイド



Netfinity 3500 M10

セットアップ・ガイド

お願い

本書をご使用になる前に、ivページの『安全に正しくお使いいただくために』をお読みください。

第1版 (1999年9月)

本マニュアルについてご意見や感想がありましたら

<http://www.ibm.com/jp/manuals/main/mail.html>

からお送りください。今後の参考にさせていただきます。

なお、日本 IBM 発行のマニュアルはインターネット経由でもご購入いただけます。詳しくは

<http://www.infocr.co.jp/ifc/books/>

をご覧ください。(URL は、変更になる場合があります)

原典： 37L6688

Netfinity 3500 M10

Start Here

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 1999.9

©Copyright International Business Machines Corporation 1999. All rights reserved.

Translation: ©Copyright IBM Japan 1999

目次

セットアップの概説	iii
安全に正しくお使いいただくために	iv
絵表示について	iv
サーバー・パッケージの内容の確認	1
サーバーの配線	2
サーバーの始動	3
オプションの取り付け	4
ソフトウェアのインストール	5
機能	6
Netfinity 3500 M10 の分解組み立て図	7
ヘルプの利用	8
商標	9

セットアップの概説

本書は、サーバーの開梱、配線およびサーバーの始動ならびにネットワーク・オペレーティング・システム (NOS) のインストールについて説明します。本書には、機能、ヘルプ情報、およびシステムの図解などの一般的な説明が含まれています。

詳細な情報が必要な場合、あるいはインストールするオプションをお持ちの場合には、*IBM Netfinity 3500 M10 ユーザーズ・ハンドブック* を参照してください。

サーバーのセットアップ、ならびにサーバーが正しく機能していることを確認するためには、以下の各ステップを実行します。



- 1 「安全に正しくお使いいただくために」をお読みください。
- 2 サーバーを開梱し、パッケージ内容を確認します。
- 3 サーバーを接続します。
- 4 サーバーを始動し、テスト (POST) を実行します。
- 5 オプションを取り付けます。
- 6 ハードウェアを構成します。
- 7 ソフトウェアをインストールします。

安全に正しくお使いいただくために

この製品を安全に正しくお使いいただくために、このマニュアルには安全表示が記述されています。このマニュアルを保管して、必要に応じて参照してください。

絵表示について

あなたとあなたの周りの人々の危害および財産への損害を未然に防止するために、このマニュアルおよびこの製品の安全表示では、以下の絵を表示しています。

 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある危険が存在する内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

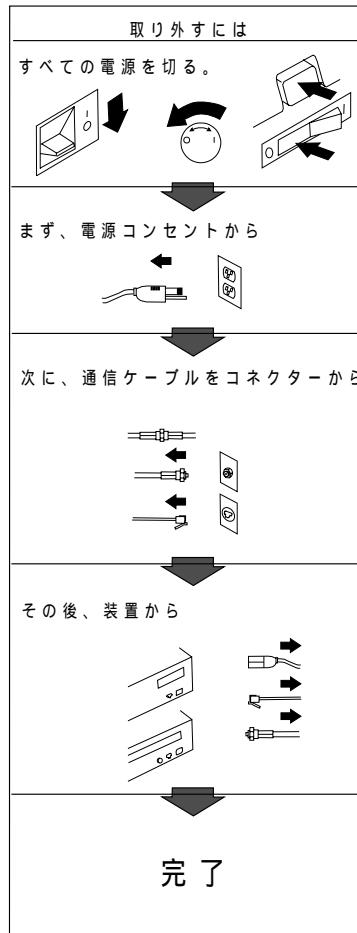
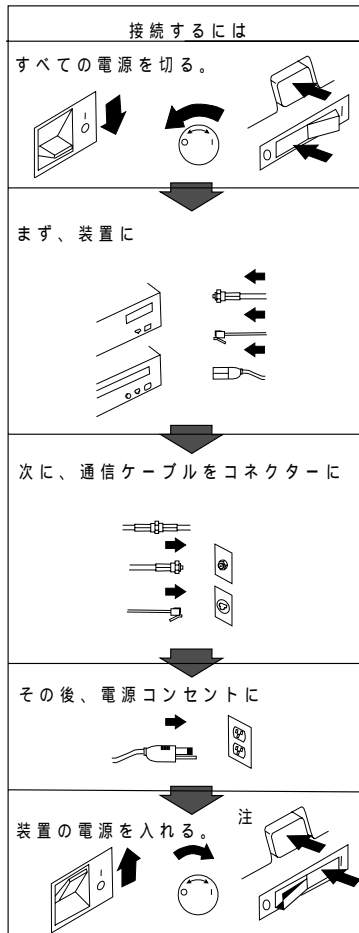
危険

- この製品を改造しないでください。火災、感電のおそれがあります。
- この製品の構成に電話ケーブル接続、通信ケーブル接続が含まれている場合、付近に雷が発生しているときは、それらのケーブルに触れないようにしてください。
- 電源プラグをコンセントに接続する前に、コンセントが正しく接地されており、正しい電圧であることを確認してください。
- 万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから必ず抜いて、販売店または保守サービス会社にご連絡ください。
- 万一、異物（金属片、水、液体）が製品の内部に入ったときは、すぐに製品の電源を切り、電源プラグをコンセントから必ず抜いて、販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。

⚠ 危険

- ケーブル類の取り付け、取り外し順序。

電源コード、電話ケーブル、および通信ケーブルからの電流は身体に危険を及ぼします。装置を設置、移動、または接続するときには、以下のようにケーブルの接続および取り外しを行ってください。また、電話回線、通信回線またはテレビのアンテナ線が接続されている製品は、雷の発生時には回線の接続または取り外しをしないでください。



注意

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。（必ずプラグを持って抜いてください。）
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 長時間使用しないときは、電源プラグを AC コンセントから抜いてください。

1



危険

電源コード、電話ケーブル、通信ケーブルからの電流は身体に危険を及ぼします。

感電の危険をさけるため、以下のことを守ってください。

- 雷の発生時には、いかなるケーブルの取り付けまたは取り外しも行わないでください。また導入、保守、再構成などの作業も行わないでください。
- 電源コードは、正しく接地および配線が行われている電源に接続してください。
- 本製品が接続されるすべての装置も、また正しく配線された電源に接続されている必要があります。
- 信号ケーブルの取り付けまたは取り外しのときは、できるだけ片方の手のみを使用するようにしてください。
- 火や煙が出たり、水で濡らしたり、あるいは構造的損傷が見られるときは、装置の電源を入れないでください。
- 取り付けおよび構成手順に特に指定されていない限り、接続されている電源コード、通信システム、ネットワーク、およびモデムを切り離してから装置のカバーを開けてください。
- 本製品または接続装置の設置、移動、あるいはカバーをオープンするときは、以下の表のようにケーブルの接続、切り離しを行ってください。

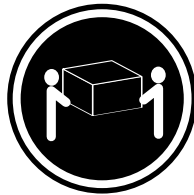
接続:

1. すべての電源を切る。
2. 最初に、各装置にすべてのケーブルを接続する。
3. 信号ケーブルをコネクタに接続する。
4. 電源コードを電源コンセントに接続する。
5. 装置の電源を入れる。

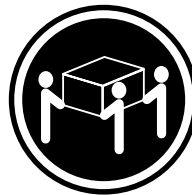
切り離し:

1. すべての電源を切る。
2. 最初に、電源コードを電源コンセントから外す。
3. 信号ケーブルをコネクタから外す。
4. すべてのケーブルを各装置から外す。

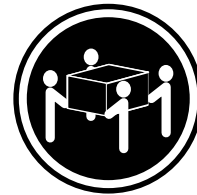
4



≥18 kg



≥32 kg



≥55 kg

注意:

装置を持ち上げるときは、安全な方法に従ってください。

サーバー・パッケージの内容の確認

以下の各品目が含まれていることを確認してください。

ハードウェア:

- IBM® Netfinity® 3500 M10 サーバー
- キーボード
- マウス
- システム電源コード
- 電源スイッチ・プロテクター
- サーバー・キー 2 個

注: サーバーを開梱したら、サーバー・キーを見つけます (サーバーの背面に取り付けられています)。サーバー・キーのシリアル番号と製造メーカーの電話番号を、*IBM Netfinity 3500 M10 ユーザーズ・ハンドブック* の“サーバーの記録と仕様” に記入してください。

シリアル番号と電話番号はキーに表示されています。

キーをなくした場合は、キーのシリアル番号を覚えている限り、製造メーカーにスペア・キーを発注することができます。

ソフトウェア:

- IBM Enhanced Diagnostics* CD
- IBM ServerGuide™* CD パッケージ
- その他のソフトウェア・パッケージ

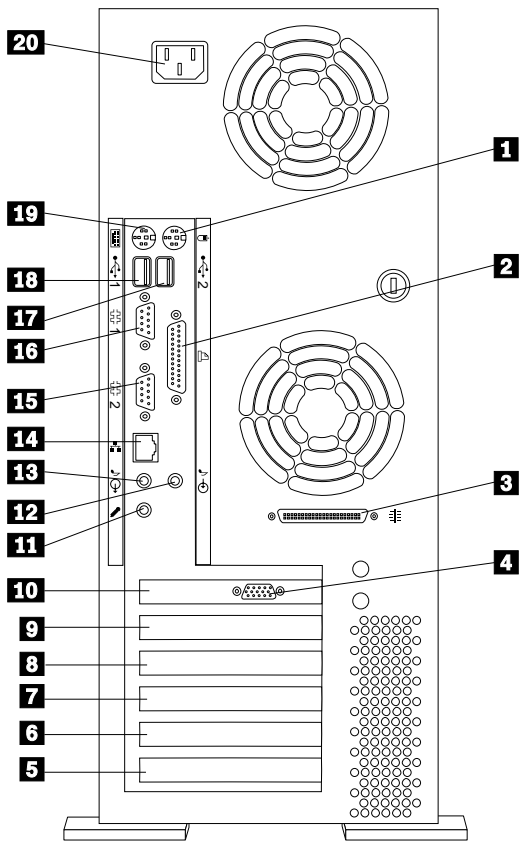
資料:

- IBM Netfinity 3500 M10 ユーザーズ・ハンドブック*

欠落または損傷している品目がある場合は、購入先に連絡してください。

サーバーの配線

- 1 空気が循環する場所を選びます。サーバーの周囲には、最低以下のスペースを確保してください。
 - 102 mm (前面)
 - 127 mm (背面)
 - 51 mm (側面)
- 2 以下の図を参照しながら、モニター、キーボード、およびマウス・ケーブルをサーバーに接続します。
- 3 すべての電源コードをコンセントに接続します。
- 4 3ページの『サーバーの始動』に進みます。



- 1 マウス・コネクタ
- 2 パラレル・ポート・コネクタ
- 3 SCSI コネクタ
- 4 モニター・コネクタ
- 5 拡張スロット 6 (PCI/ISA 共用)
- 6 拡張スロット 5 (PCI)
- 7 拡張スロット 4 (PCI)
- 8 拡張スロット 3 (PCI)
- 9 拡張スロット 2 (PCI)
- 10 拡張スロット 1 (AGP)
- 11 マイクホン・コネクタ
- 12 オーディオ・ライン入力コネクタ
- 13 オーディオ・ライン出力コネクタ
- 14 イーサネット・コネクタ
- 15 シリアル・ポート 2 コネクタ
- 16 シリアル・ポート 1 コネクタ
- 17 汎用シリアル・バス (USB) 2
- 18 汎用シリアル・バス (USB) 1
- 19 キーボード・コネクタ
- 20 電源コード・コネクタ

サーバーの始動

- 1 モニターの電源を入れ、次にサーバーの電源を入れます。
- 2 モニターを注意して見ます。

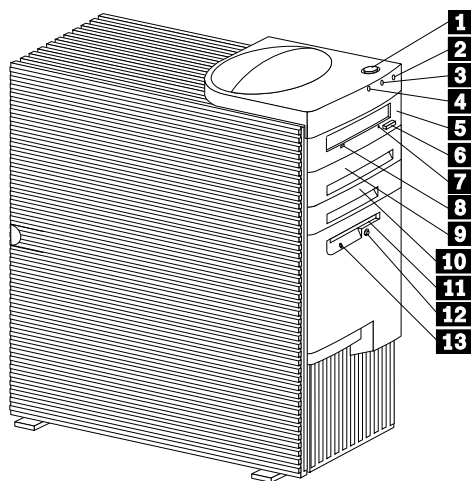
システムがその始動テスト (POST) を正常に完了すると、始動可能(ブート可能) メディアの挿入を指示するプロンプトが表示されます。

注: オペレーティング・システムがインストールされていないために、以下のメッセージが表示されます。

1962 No operating system found. Press F1 to repeat boot sequence.

他のエラー・メッセージが表示された場合、ビープ音が発せられた場合、あるいはモニター画面に何も表示されない場合は、*IBM Netfinity 3500 M10 ユーザーズ・ハンドブック*の“問題の解決”の章にある説明を読み、3に進んでください。

- 3 *IBM Netfinity 3500 M10 ユーザーズ・ハンドブック*の“サーバーの記録と仕様”にある表に、サーバーのシリアル番号とキーの番号を記入してください。
- 4 4ページの『オプションの取り付け』に進みます。



- 1 電源スイッチ
- 2 電源 on ライト
- 3 ハード・ディスク使用中ライト
- 4 LAN 活動ライト
- 5 ベイ 1 (CD-ROM ドライブ)
- 6 CD-ROM 取り出しボタン
- 7 CD-ROM 緊急時取り出し穴
(一部のモデルではベゼルの背部)
- 8 CD-ROM ドライブ使用中ライト
- 9 ベイ 2
- 10 ベイ 3
- 11 ベイ 4 (3.5 インチ・ディスクット・ドライブ)
- 12 ディスケット取り出しボタン
- 13 ディスケット・ドライブ使用中ライト

オプションの取り付け

オプションがある場合は、ここでそれらを取り付けます。取り付け説明については、オプション付属の資料および *IBM Netfinity 3500 M10 ユーザーズ・ハンドブック* を参照してください。

オプションをすべて取り付け後はここに戻り、5ページの『ソフトウェアのインストール』に進みます。*IBM ServerGuide* CD-ROM パッケージを使用して、ハードウェアの構成とソフトウェアのインストールを行います。

注:

- オプションを取り付けるときは、各オプションには必ず固有の割り込み要求 (IRQ) を割り当ててください。IRQ が重複してはいけません。
- 装置をベイ 2, 3, 5, および 6 に取り付けるときは、取り付けの前に装置の終端を使用不可にしてください。
- 複数のネットワーク・アダプターを取り付ける計画がある場合は、この時点で 1 つだけ取り付けてください。オペレーティング・システムをインストールし、それがエラーなく始動した後に、追加のネットワーク・アダプターを一度に 1 つずつ取り付けます。
- サーバーの 10BASE-T または 100BASE-TX ポートをリピーターに接続する場合、両端に RJ-45 コネクタを備えた対より線 (シールドなし) UTP ケーブルを使用します。10BASE-T および 100BASE-TX コネクタ用には、電磁的な互換性を含め、各種の基準を満たすため、EIA/TIA-568 カテゴリー 5 のケーブルを使用しなければなりません。

取り付けるオプションがない場合は、5ページの『ソフトウェアのインストール』に進みます。

ソフトウェアのインストール

ご使用のサーバーには IBM ServerGuide が含まれています。ServerGuide については、ServerGuide パッケージに付属する資料を参照してください。

ServerGuide CD により、サーバーおよびそのサーバーについてテスト済みデバイス・ドライバーを簡単に導入することができます。ServerGuide CD に含まれるプログラムを使用して以下のことを行うことができます。

- サポートされるハードウェアの構成。
- サーバーに取り付けられているサポート・ハードウェアを検出し、そのハードウェアに関してテスト済みのデバイス・ドライバーを提供する。
- 一部のネットワーク・オペレーティング・システム (NOS) の導入ステップを自動化する。
- "複製インストール" は、複数システムへの Microsoft® Windows NT® サーバー 4.0 のインストールを簡素化できます。
- ServerGuide に含まれている一般的アプリケーション・プログラムのインストール。
- IBM Update Connector のインストール。このプログラムがインストールされた後は、ご使用のサーバーを IBM アップデート Web サイトに接続し、入手可能なデバイス・ドライバー、BIOS、およびプログラム・アップデートを受け取ることができます (Windows NT Server 4.0 およびインターネットに対する TCP/IP アクセスが必要)。

NOS のインストールにおいて **ServerGuide** を使用しない場合は、システム独自の NOS 説明書をダウンロードする必要があります。

WWW の <http://www.ibm.com/support> から最新レベルの NOS 導入説明書およびデバイス・ドライバーをダウンロードすることができます。

- 1 **Servers** の、**Netfinity** をクリックします。
- 2 **Select your family** フィールドから、**Netfinity 3500 M10** をクリックします。
- 3 **Select your model** フィールドから、**model** をクリックします。次に

Downloadable files をクリックし、デバイス・ドライバーをダウンロードします。

または

Software information をクリックし、NOS インストール説明書をダウンロードをします。

機能

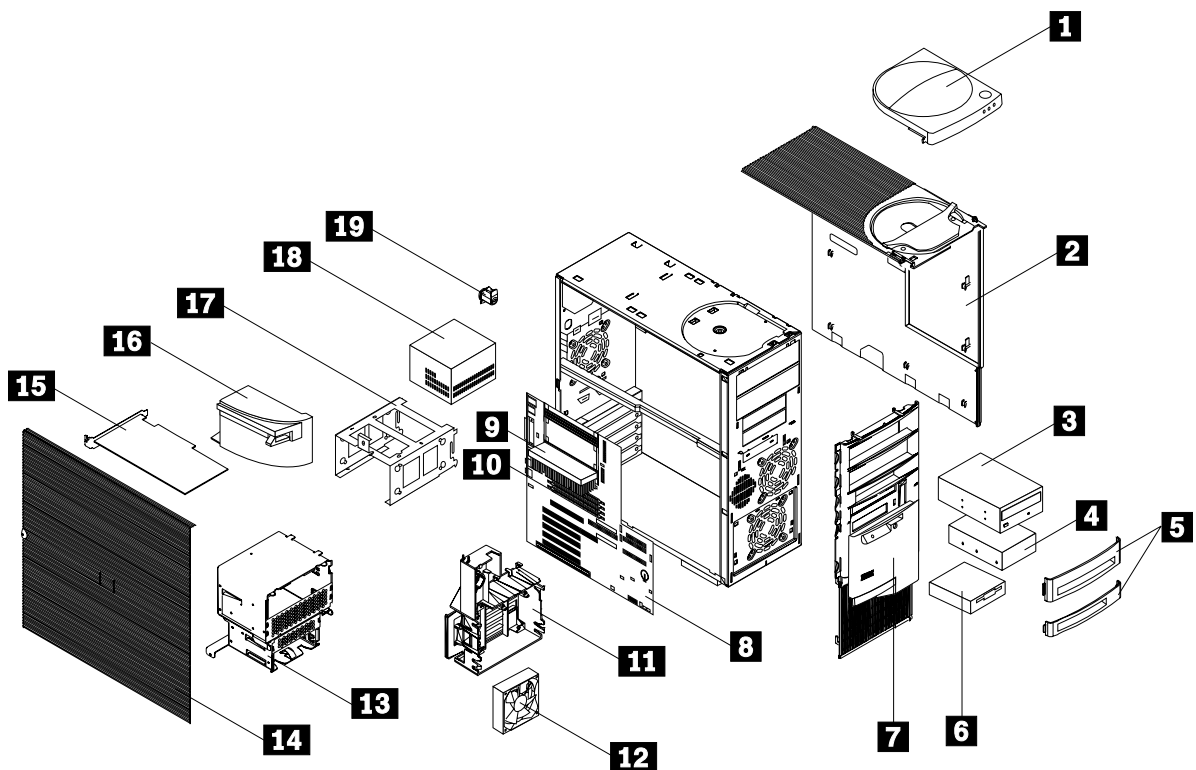
以下の表は、IBM Netfinity 3500 M10 サーバーの各機能をまとめたものです。下に記載されている各機能に関する詳細情報については、*IBM Netfinity 3500 M10 ユーザーズ・ハンドブック*を参照してください。

<p>マイクロプロセッサ</p> <ul style="list-style-type: none"> 標準: 64 MB または 128 MB (サーバーの型式によって異なる) Intel® Pentium® III マイクロプロセッサ 512 KB L2 キャッシュ・メモリー <p>メモリー</p> <ul style="list-style-type: none"> SDRAM 1 GB まで拡張可能 標準装備: SDRAM エラー修正コード (ECC)、100 MHz DIMM 以下をサポート: <ul style="list-style-type: none"> 64 MB および 128 MB unregistered DIMM、または 256 MB registered DIMMs (片面または両面タイプ) 2.5 インチの高さまでの DIMM 3.3 V、同期、168 ピン、DIMM ソケット、4 個 システム・プログラム用フラッシュ・メモリー <p>内蔵ハード・ディスク</p> <ul style="list-style-type: none"> 標準: 空、あるいは SCSI ハード・ディスク 1 台 SCSI 装置の最大装備: <ul style="list-style-type: none"> スリムライン・ハード・ディスク 4 台 ハーフハイト・ハード・ディスク 2 台 <p>CD-ROM ドライブ</p> <ul style="list-style-type: none"> IDE CD-ROM ドライブ 1 台 	<p>取り外し可能メディア・ドライブ</p> <ul style="list-style-type: none"> 標準: 3.5 インチ、1.44 MB ディスケット・ドライブ 1 台 最大: ディスケット・ドライブ 1 台およびバックアップ用磁気テープ装置 1 台 <p>拡張</p> <ul style="list-style-type: none"> ドライブ・ベイ 6 個 拡張スロット 6 個(専用 PCI 4 個、共用 ISA/PCI 1 個、専用 AGP 1 個) PCI/ISA プラグ・アンド・プレイ・アダプターのサポート デュアル・マイクロプロセッサのサポート 追加内蔵および外付け SCSI 装置のサポート 3.5 インチ、1.44 MB ディスケット・ドライブ、内蔵磁気テープ装置のサポート Netfinity ServeRAID アダプターのサポート <p>電源機構</p> <ul style="list-style-type: none"> 330 W、115/230 V ac、50/60 Hz 自動 ac 電圧検出 内蔵過負荷およびサージ保護機能 <p>システム管理</p> <ul style="list-style-type: none"> RPL (リモート・プログラム・ロード) および DHCP (動的ホスト構成プロトコル) Wake on LAN LAN からのリモート・リセット 	<p>セキュリティ</p> <ul style="list-style-type: none"> 始動パスワードと管理者パスワード ロック可能カバー ボルト固定機能 シャシー内無断アクセス検出 始動順序制御 ディスク・ドライブ、キーボード、またはマウスなしでの始動 自動始動モード ディスク、ハード・ディスク、シリアル・ポート、およびパラレル・ポートへのアクセス制御 <p>ビデオ</p> <ul style="list-style-type: none"> 標準: グラフィックス・アダプターまたは AGP グラフィックス・アダプター (サーバーの型式によって異なる) <p>内蔵機能</p> <ul style="list-style-type: none"> 10BASE-T および 100BASE-TX 接続の Ethernet コントローラー ECP/EPP パラレル・ポート 16550 UART シリアル・ポート 2 個 USB ポート 2 個 マウス・ポート キーボード・ポート モニター・ポート (グラフィックス・アダプター上) Ethernet RJ-45 ポート <p>サポートされるオペレーティング・システム</p> <ul style="list-style-type: none"> Microsoft® Windows NT® Server バージョン 4.0 Novell Netware バージョン 4.x または 5.x SCO UnixWare IBM OS/2 Warp Server SMP
--	---	--

始動時に **F1** を押すと、ご使用のサーバーに関する構成情報を表示することができます。詳細については、*IBM Netfinity 3500 M10 ユーザーズ・ハンドブック*を参照してください。

¹ 重要: ご使用のサーバーに、registered DIMM と unbuffered DIMM を混用することはできません。registered DIMM を使用するためには、ご使用のサーバーから unbuffered DIMM をすべて取り外す必要があります。

Netfinity 3500 M10 の分解組み立て図



- | | |
|----------------------------------|--------------------------|
| 1 サーバー・ハンドル/キャップ・アセンブリー | 11 アダプター・カード・ガイド |
| 2 サーバー・トップ/サイド・カバー・アセンブリー | 12 ファン |
| 3 CD-ROM ドライブ | 13 ハード・ディスク・ケージ |
| 4 ハード・ディスク | 14 サーバー・サイド・カバー |
| 5 ドライブ・ベゼル | 15 アダプター・カード |
| 6 ディスケット・ドライブ | 16 エア・バッフル |
| 7 サーバー・フロント・ベゼル | 17 ハード・ディスク・ブラケット |
| 8 システム・ボード | 18 電源機構 |
| 9 マイクロプロセッサ | 19 キーロック・アセンブリー |
| 10 DIMM (メモリー) | |

ヘルプの利用

問題の多くは、オンライン・ヘルプを利用することによって、あるいはサーバーまたはソフトウェア付属のオンラインあるいは印刷資料を読むことによって解決することができます。また、ソフトウェア付属の README ファイルに記載されている情報を必ずお読みください。自分自身で問題を解決できない場合は、購入先またはIBM に連絡してください。

IBM 担当員は、サーバーのセットアップからハードウェアあるいはソフトウェア問題まで、ユーザーが遭遇する可能性のあるほとんどの問題について援助することができます。

電話をかけるとき

電話をかけるときは以下の情報を準備しておいてください。もし可能ならば、サーバーのそばにいてください。

- ご使用のサーバー、モニター、およびその他の構成要素のシリアル番号
- 問題の説明
- エラー・メッセージの正確な記録
- ご使用のシステムに関するハードウェアおよびソフトウェア構成情報

WWW の利用

IBM 製品およびサポートに関する最新情報については、以下のアドレスのIBM WWW サイトにアクセスしてください。

<http://www.ibm.com/>

このページから各国の Web サイトを選択することができます。

その他のサポート

本セクションに記載されているものと類似したサービスは、IBM 販売店または購入先から利用できる場合があります。詳しいことは、販売業者にお問い合わせください。

商標

以下の用語は、米国およびその他の国における IBM Corporation の商標です。

- HelpCenter
- IBM
- Netfinity
- ServerGuide

Intel および Pentium III は Intel Corporation の商標または登録商標です。

Microsoft, Windows, および Windows NT は Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

他の企業、製品、およびサービス名は、それぞれ他社の商標またはサービス・マークの場合があります。



部品番号: TBD

Printed in Japan

1999年9月

